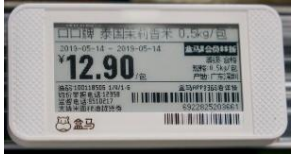


9-3	中国ベンチャー企業がコロナ渦で躍進できた理由	所属 春日部市立武里中学校 氏名 小谷 勇人
資料名	『リープ・マーケティング 中国ベンチャーに学ぶ新時代の「広め方」』永井竜之介 株式会社イースト・プレス 2020年6月5日	
資料内容	<p>○ キャッシュレス決済、モバイルオーダー、顔認証サービス、フィンテック、IoT 製品などが普及を広げ、さまざまな場所で AI が活用されている中国は「世界最先端のデジタルイノベーションを生み出す場所」になっている。</p> <p>○ 新型コロナウイルス感染拡大という危機ですら、中国のベンチャー企業はデジタルイノベーションを興す機会に変えている。例として、一般の消費者が利用するフードデリバリーにまで無人配送が導入され始めている。</p> <p>○ 中国人のビジネスマインドと日本人のビジネスマインドは対照的である。</p>	
教科書等との関連	中学校公民的分野 企業の経済活動 起業 情報化 グローバル化 高等学校公民科 企業経営 起業 情報化 グローバル化	
キーワード	コロナ 国際経済 起業 ノベーション 中国 情報化 グローバル化	
ねらい	◆コロナ禍における各国の対応は千差万別である。厳格に隔離が行われる中国では、コロナ渦であってもビジネスチャンスと捉えるイノベーションが起きている。その背景を探究することで、日本へ取り入れられる点はないか考察する。	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>① 中国スーパー「フーマフレッシュ」のダイナミック・プライシング <発問>これはある国のスーパーの値札である。気づくことは？ 例・中国語で書かれている 値札が電子化されている</p>  <p>② 電子棚札のメリット <ペアワーク>電子棚札が普及することはどのようなメリットがあるか？ ⇒・値段を常に変えることができるので、意図的に売り切ることができる ・消費者がアプリで家にいながら現在の値段を確認できる など</p> <p>③ コロナ渦における中国のデジタルイノベーションの紹介 ・モバイルオーダーの拡大（美团外売） ・アプリの健康コードで管理</p> <p>④ コロナ渦における中国でのデジタルイノベーションの理由 <グループ討議>なぜ中国ではコロナ渦においてもデジタルイノベーションが進んだのか。その理由を調べよう。（インターネットで調べる） …それぞれが書いたものを大型モニターで共有し、自由に確認できるようにする</p> <p>⑤ 現在のコロナ渦における日本の動向と中国の動向を比較する <考えよう>中国のコロナ渦に対する動向から日本の総理大臣に進言してみたいことを「中国経済の動向を調べた結果、～した方が良いです!」という形でまとめよう。 例・中国経済の動向を調べた結果、with コロナではいつまでもコロナが収まらないので、ロックダウンのような状況にして仕事はリモート、食べ物はモバイルオーダーで済ませることができるような状況にできた企業には持続化給付金を増額した方が良いです。</p>	
備考	今回の学習は、模擬起業体験学習へとつなげる導入場面として取り扱うこともできる。コロナを題材に身の回りの困り感を解決できる商品を生徒の自由な発想で考えさせると深い学びへとつながる。また、この学習を生かし、コロナ渦の各国の経済状況と対策を調べることで財政や金融政策の学習が深まる。	